

みんなの

しみサボ⁶⁸



・NPO法人真駒内・芸術の森緑の回廊基金

・NPO法人サッポロ・ミツバチ・プロジェクト

・自然ウォッチングセンター

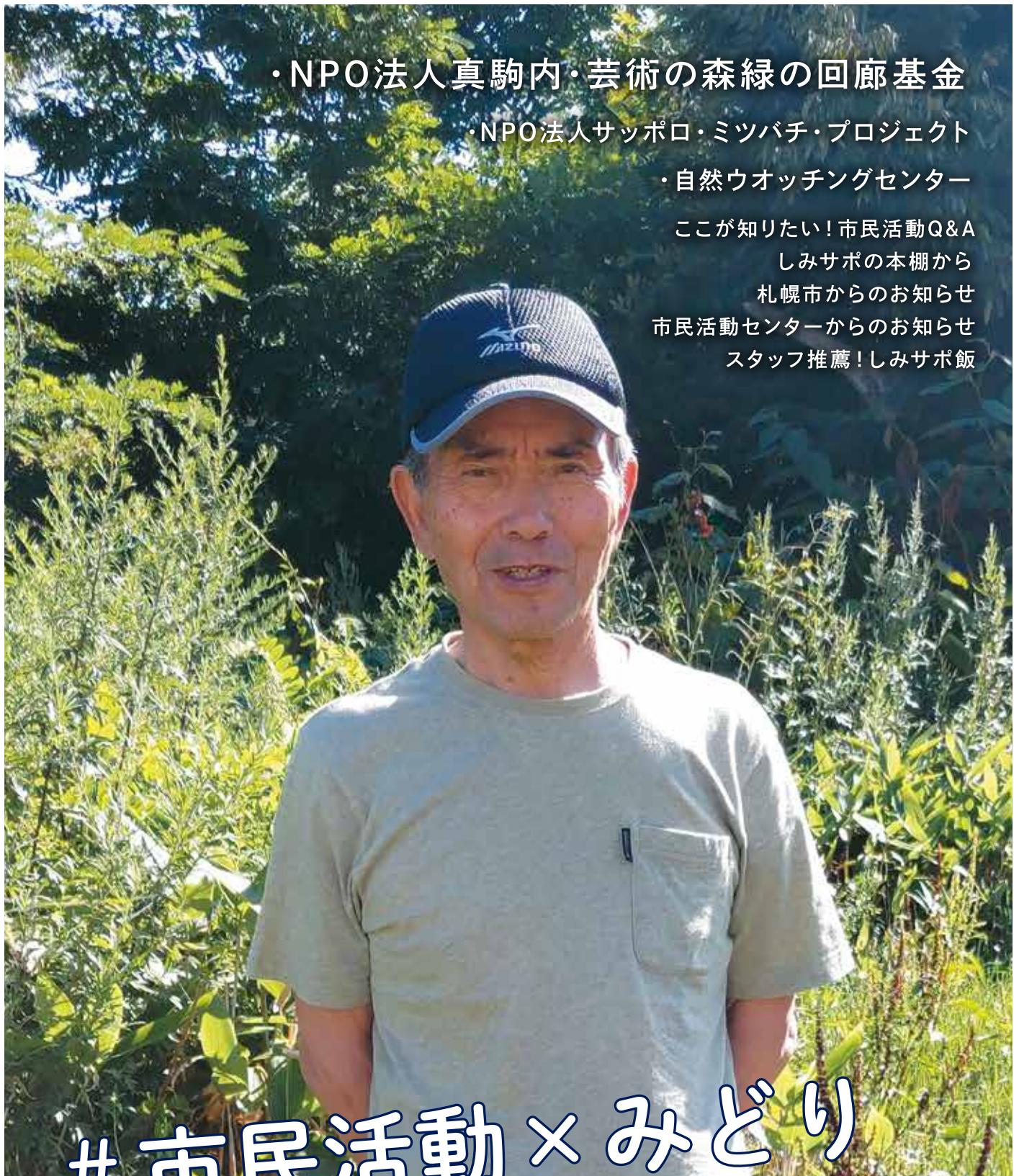
ここが知りたい！市民活動Q&A

しみサボの本棚から

札幌市からのお知らせ

市民活動センターからのお知らせ

スタッフ推薦！しみサボ飯



#市民活動×みどり

#市民活動 ×みどり

札幌市が策定した第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンの中で目指すべき都市像として「みどり」というキーワードがあります。この「みどり」という枠組から今回は自然などの緑に着目し、皆さんの生活のすぐそばにある札幌の豊かな自然に対してさまざまな活動に取り組む市民活動団体をピックアップしました。「まもる」「つたえる・つなぐ」「あそぶ・たのしむ」という3つの視点でそれぞれ取り組まれている団体をご紹介します。



まもる

NPO法人
真駒内・芸術の森
緑の回廊基金

話し手 後藤達彦さん
小林保則さん

□ http://mkairou.org/



小林さん 1995年に南区の真駒内南町7丁目に隣接する森の木を伐採してゴルフ場をつくるといふ話になつたことがきっかけで。その時、7丁目の住民活動をはじめた経緯を教えてください。

地下鉄南北線・真駒内駅の東側に隣接する真駒内保健保安林。そこから芸術の森まで続く「緑の回廊」を未来に残すため活動しているのがNPO法人真駒内・芸術の森緑の回廊基金です。現代表の小林さん、次期代表の後藤さんにお話を伺いました。

土地を市民の手でまもっていくということがナショナルトラスト運動なんですね。

後藤さん そうなんです。最近は目に見えない奥でしまつていて、開拓することもあります。例えば住宅地開発やごみの埋め立てをする時に、土砂が必要になります。土砂は森を伐採することで採取するのですが、景気の良い時に開発があちこちで進むと、私たちの知らないうちに

や町内会が主体になつて「森を伐採するのをやめてくれ」と訴えました。札幌市も一緒に考え、土地を買はず、どんな運動をしても止められないのだと思いました。それならナショナルトラスト運動というものが止める運動でもいいのです。土地を所有することによって開発を止める運動を行うことや、都市近郊林がいかに大切なかを市民の方に知つていただくために、毎年一回、回廊講演会を行っています。

次に具体的な活動内容を教えてください。

小林さん 当初から行っている活動の一つが「桜山クリンクリンウォーク」というゴミ拾い活動です。元々は桜山を活動拠点として自然とか春の花を見ながら森の中をきれいにしま

駒内駅の裏の桜山の周りまで続いている緑が切れてしまうかもしない。それを止めるために、私たちが開発出来ない土地をつくり、規制をすることです。緑を守っています。



桜山クリンクリンウォークの様子

しょう、というコンセプトで始まりました。

後藤さん 実際に山を散策していたら山の中よりも山の周りの脇道や道路にゴミがある、という事に気がつきました。市民の方にそうした些細なところからでも回廊の自然に興味をもつていただきたいと思い、始めた活動です。年々興味をもつ市民が増え、「今年はゴミ拾いをしないの?」という言葉をいた

だく時もあります。最近は桜山に“散策”という形で実際に森に入つて、森を知つていこうよ」という活動を始めています。あとは回廊にどういった動植物がいるのかを調査する活動も行っています。

回廊をまもる活動なんですね。
活動をされている中で、課題と感じるところや力を入
れていきたいところを教えてください。

後藤さん 社会全体が30年前に比べると、自然環境が壊されることに対する危機感がなくなっているのと、昔ほど関心がないのかなという印象があります。どうやつて関心をもつてもらえるか、そこに力を入れていきたいです。

小林さん イベントをするとよく行政がやっていると間違われてしまうことが多いので、こういったイベントは市民活動で成り立つていて、という事をもつと市民の方に知つていただきたいです。

桜山散策の様子



す。自然観察会、ごみ拾い等身近なところから市民の皆さんを巻き込んでいきます。団体としては市民活動の存在意義を見出していきたいです。

ありがとうございます。
最後に市民の皆さんにメッセージをお願いします。

後藤さん 先ほどもお伝えしましたが、自然が破壊をされることへの危機感が薄れてきているので、自然環境にもつと目を向けてほしいです。

小林さん あとは「森を森のまま残したい」これにつきます。



写真:団体より提供



緑の回廊講演会の様子

つたえる・つなぐ

NPO法人

サッポロ・ミツバチ・プロジェクト

札幌の街の中心部にあるビルの屋上でミツバチの養蜂を行っているNPO法人サッポロ・ミツバチ・プロジェクト（通称：さっぽち）。“green” “brand” “community”的3つの軸から、日々ミツバチとともに活動しています。代表の酒井さんにお話を伺いました。



屋上養蜂にて撮影した様子

私の本業は建築や都市計画づくりです。本業の中でカラス対策をしなければならなくなり調べたところ、ミツバチがカラスを襲うという本を見つけ、札幌のビルでミツバチを飼うことで“カラスをやっつけてくれる”と思いました。そこで、本の著者にお会いする機会があり、蜂を分けてほしいという話をしたところ、「それはネガティブな発想だな。それよりもこれほど緑に囲まれた札幌であれば絶対にいい蜂蜜が採れる」とお話しをされ、良い蜂蜜をとつてスイーツ屋とコラボしようと思ったのがきっかけです。

ミツバチとともに屋上で今後力を入れていきたいところはありますか？

さつばちの活動を始めたきっかけを教えてください。

札幌の大通のビルの屋上でミツバチが見られるのではなくかと考えています。ビルの屋上にミツバチの巣箱を置くことで、屋上で養蜂していることに対して関心のある多種多様な方が集まり、不思議なコミュニティがつくれられています。ミツバチが蜜を集めているだけではなく、人を集めてくれてこの活動基盤となっています。

様々な活動をされていますが、特に印象的だったことはなんでしょうか。

一番はここでしか採れない蜂蜜を商品化したことですね。スイーツだけではなく、様々なものとコラボしています。現在はクラフトビールづくりにも挑戦しています。一つひとつが楽しいですし、自分たちで採った蜂蜜がこんな風に使われるのかという、わくわく感があります。



ミツロウサシェ

誰でも気軽に参加できる場所で活動しているのでぜひ参加してほしいです。そして、ミツバチの生態や美しさを知つて、自分たちの町で採れる蜂蜜の魅力を感じてほしいと思います。それが、札幌の町を好きになるきっかけになれば嬉しいです。

みどりを市民につたえるつなぐ活動を行つているのですね！

育てている植物たちの「屋上ガーデン」をもっと増やしたいというのが一つです。あとも増やしていく活動をしたいと考えています。そのためには市民活動と地域とのコラボが必要だと考え、例として子どもたちを対象としたミツバチの見学会の後に、大通公園で緑の観察会を行うなどしています。

話し手 酒井秀治さん

□ HP

f <https://www.facebook.com/sappachi>

o sappachi

□ <http://sappachi.com/>



屋上ガーデンの様子

活動内容を教えてください。



蚊帳の中にトンボや蝶々を入れて
楽しんでいる様子



あそぶ・たのしむ

自然ウォッチング センター

わんぱく遊び隊・さっぽろネイチャー探検など、みどりと「あそぶ・たのしむ」活動内容としている自然ウォッチングセンター島田明英さん・恵実さんにお話を伺うため、8月3日(土)に実施された「親子自然ウォッチング『わんぱく遊び隊!』わくわく虫さがし!」に参加してきました。

話し手 島田明英さん
恵実さん

□ <https://shizen-w.org/>

□ HP



活動内容を教えて
ください。

明英さん 活動内容としては主に3つあります。1つ目は自然観察・自然体験活動です。大人から子ども、広くさまざまな方に自然の楽しさを伝えています。2つ目の講師派遣では保育園などから依頼を受けて、子どもたちに向けた自然体験を行っています。3つ目は「北海道ウォッチングガイド」というフレーベーパーの発行です。市民の皆さんのが気軽に参加できる自然関係のイベントを広報しています。

私も参加した
「わんぱく遊び隊」について
教えてください。

明英さん 4歳から小学校3年生を対象にして、自然の中で遊びながら学ぶことができます。私が子どもたちには空き地などどこでも好きな放題遊びましたが、今の子どもたちは川で遊んではいけないなど規制が多くなってしまっているので、もう少し自由に遊んでもらいたい、そんな思いでこのイベントをつくりました。また、親世代でも子どもを自由に遊ばせてあげたい気持ちはあるけれども、親

明英さん イベントに参加
教えてください。

活動の中での難しさや
課題に感じる部分を
教えてください。

明英さん イベントに参加
教えてください。

では、最後に市民の皆さんに
どんなことを伝えて
いきたいですか？

明英さん 自然環境という
のは身近なところから変化
している。私の場合は自宅
にいると聞こえてくるセミ
の鳴き声がここ数年で変わ
つてきてることから、セミ
の種類が変化しているこ
とが分かります。セミのよう
に、身近な虫から興味をもつ
ていただきたいです。

恵実さん わんぱく遊び隊
は、昔お兄ちゃんが参加して、
次に妹が参加して、今いとこが
参加して……みたいな繋がり
が不思議と続いている。中には
小学生の時から参加してくれ
ていて、中学校・高校に行つ
ても熱心に続けて来てくれる
リピーターもいたりします。

し、遊んで楽しい体験として思い出に残るだけでも十分嬉しいのですが、最終的には自然の大切さや資源の使い方を考えた生活をするとか、子どもたちが自分の意見を持つてどう変わった今まで確認するために、繋がっていくべきかという難しさもありますし、それが目に見えるものではないというもどかしさもあります。それでも、そこに繋ぐための効果的な方法を考えていきたいと思っています。



ここが知りたい！ 市民活動 Q & A

遺贈寄付について、質疑・応答形式で解説します！

Q 遺贈寄付とはどのようなものか、教えてください。

A 亡くなった方が、遺言によって、相続人やそれ以外の個人や団体に財産の一部または全部を譲ることです。

生前に財産を特定の個人や団体に譲る寄付と違い、遺贈は、遺言によって、ご自身が亡くなった後に残った財産を渡すものです。亡くなった後の財産の使い方、分け方について、ご自身の意思を示すことができ、想いを未来に残す手段として利用されています。



Q 遺贈寄付を「する」ために、どんな準備や手続きが必要ですか？

A 遺贈には、遺言書を作成することが必要です。そのため、まずは、ご自身が亡くなった後、財産をどのように分けたいか、活用したいかを決めることが必要です。残された家族の手続きの負担を軽減させるためにも、遺言書の作成は有効な手段です。ご自身の財産を整理して、財産の行先やその活用方法を考えることが最初の一歩になります。 遺贈という枠組みで、どのようなことができるか、想いを実現するためにどのような手段が適切かを考えるためにも、遺贈の相談を活用することがお勧めです。



相談員プロフィール

今野 佑一郎（弁護士）

NPOのための弁護士ネットワークに所属。本業を活かし、NPO法人等の理事、監事、会員として活動し、道内の市民活動に法的サポートを幅広く行う。遺贈寄付に関する遺言の作成や受け入れ団体の勉強会なども実施し、市民活動を法律家として支援する。

Q 遺贈寄付を「受ける」ために、どのような準備ができるでしょうか？

A 団体が遺贈を受けるためには、組織としての準備も必要になります。遺贈者の想いを団体として実現するため、財産の管理体制のみならず、遺贈者の相続人や関係者との関係構築も重要です。遺贈や寄付を受け入れ可能な団体として、相続に関する基本事項を知り、必要な団体の事業に沿った規定の整備を進めていくことが必要です。



『知識ゼロからでも自信を持って
PR活動ができる！
ひとり広報の教科書』

井上 千絵著
日本実業出版社／2022年

“ひとり広報”とは、読んで字のごとく、組織の広報をひとりのスタッフが担当すること。スタートアップや中小企業によくあるケースで、個人の裁量が大きく、やりがいがある反面、孤軍奮闘を強いられて悩んでしまう担当者も少なくないそうです。 そんな、ひとり広報担当者に寄り添うべく、すぐに対応できるノウハウや参考にしたい事例をまとめた本書。広報に関する基礎知識や実務はもちろんのこと、土台となる組織内コミュニケーションやマインドセットについても解説されています。団体として「広報を頑張りたい！」と思ったら、まず手に取ってほしい一冊です。



『推しの公園を育てる！
公園ボランティアで楽しむ
地域の庭づくり』

桝田 里佳・跡部 徹
(一般社団法人みんなの公園愛護会) 著
学芸出版社／2024年

ボランティアとして公園を育てる(環境整備の他、人が集まる仕掛けづくり等を行うこと)醍醐味を、たくさんの事例とともに紹介する一冊。

言葉の端々や、写真の表情からは「地域(みんな)のために」という気負いは一切感じられません。どの人も、純粋に楽しんで活動していることが伝わってきます。ボランティアというと「社会のために尽くす」イメージがまだまだ強いですが、活動者自身がやりがいを持って取り組むことの大切さにあらためて気づかされました。

ちなみに、札幌市内にはおよそ2,700の公園があるそうです。あなたも公園ボランティアとして、身近なみどりを育ててみては？

札幌エルプラザ情報センターのご案内

札幌エルプラザ1階にある情報センターでは、市民活動、男女共同参画、環境、消費生活に関する書籍や映像を閲覧したり、借りたりすることができます。マークのついているものは、情報センターで借りることができます。

■お問い合わせ / 011-728-1223

■開館時間 / 9:00～20:00

■貸出時間 / 9:00～19:45

市民活動のヒントになるおすすめの書籍を紹介します

しみサポの本棚から



お問い合わせ先

札幌市市民文化局 市民自治推進室 市民自治推進課
〒060-8611
札幌市中央区北1条西2丁目
☎011-211-2253 ☐shiminjichi@city.sapporo.jp

「若者ネットワーク」の登録者募集中!若者(18~34歳)の地域活動への参加をお待ちしています!

若者が地域活動に参加するきっかけや接点をつくるため、町内会と若者をつなぐマッチングシステムを作りました!
地域活動に参加してみたい、地域活動に興味があるという若者(18~34歳)の登録をお待ちしています!

■ 若者ネットワークってなにするの?

18~34歳の若者によるネットワークで、登録している若者同士のつながりづくりのため、交流イベントを開催します。

また、地域の温かさや町内会の重要性を感じながら、若者自身のスキルアップにつなげるため、町内会のイベントの企画や当日のスタッフとして、若者が地域活動に参加できる機会も作ります。

■ 地域活動への参加までの流れ

- ①LINE公式アカウントから地域活動への参加を依頼します。参加を希望される方は、事務局にご連絡ください。
- ②実施内容や集合場所等の詳細を地域と調整のうえ、参加者にお知らせします。
- ③当日地域活動に参加された方には、活動終了後に謝礼として1,000円分のクオカードをお渡しするほか、事務局から参加証明書を交付いたします。

※令和6年度はモデル的に実施するため、町内会からの公募は予定しておりません。

「若者ネットワーク」の登録方法

■STEP.1

右記「次元コード(若者ネットワーク申込フォーム)」から申込

■STEP.2

LINE公式アカウントを友だち登録し、若者ネットワークに加入

■STEP.3

登録完了。事務局から申込確認した旨メール等により登録者へ連絡

若者ネットワーク申込フォーム

申込フォームに必要事項を入力し、お申し込みください。



札幌市ホームページ

町内会と若者をつなぐマッチングシステム「マチトモLABO」



相談窓口のごあんない

市民活動・NPOのさまざまなお悩みに相談員がお答えします。

すべての相談は無料です(1回30分~45分程度)。

※法律相談、税務・会計相談は事前相談予約制です。予約は相談日の一週間前までにお願いいたします。
(予約方法:電話またはメールにて。☎011-728-5888 / ☐shimin-1@shimin.sl-plaza.jp)

市民活動相談

活動経験豊富な「さっぽろパブリックサポートネットワーク」のメンバーがご相談にお答えします。

| | |
|-----------|-------------|
| 毎週火・水・金曜日 | 15:00~17:15 |
| 第1・2木曜日 | 16:45~19:00 |

法律相談

「NPOのための弁護士ネットワーク」の弁護士が市民活動団体・NPO法人運営に関する法律のご相談にお答えします。

| | |
|--------------|-------------|
| 第3木曜日(4~9月) | 13:00~15:00 |
| 第3木曜日(10~3月) | 10:00~12:00 |

税務・会計相談

北海道税理士会所属の税理士が法人会計などのご相談にお答えします。

| | |
|-------|-------------|
| 第4木曜日 | 15:00~17:00 |
|-------|-------------|

※第4木曜日が祝日等の場合変更あり

チ・カ・ホにチラシを置きませんか?

札幌駅前地下歩行空間チ・カ・ホにある「市民まちづくり活動情報コーナー」。実は、センター登録団体のチラシ以外にも、札幌市など行政機関の後援があるイベントのチラシも配架できます。ぜひ、センター窓口までチラシをお持ちください!



「しみCube」好評受付中!

個人用オンラインブース「しみCube」の利用を受付中! 団体登録されている方なら誰でも、1時間500円で最大3時間まで連続して使用できます。周りの音を気にせず、WEB会議も快適! ご予約は窓口orお電話にてお待ちしております!

＼スタッフ推薦！／ しみサポ飯



創業50年以上愛され続けるカレー屋さん
カリーhaus コロンボ

札幌駅周辺に行列の絶えないカレー屋さんがあると聞き、エルプラザから歩いて10分ほどの場所にある「カリーhaus コロンボ」に行ってきました。開店10分前から少しづつお客様が並びはじめ、開店と同時に席が埋まるほどの人気っぷりですが、食べ終わったお客様からすぐに次のお客様に代わる代わる入れ替わり、回転率は早く感じました。カレーはさらっとしたルーで辛すぎず、優しい甘さも感じられるちょうど良い辛さでした。ボリュームも評判のお店ですが、5種類のごはんの量から選択でき自分にあった量で安心して食べることができます。

お店の一番人気メニューは水曜日限定の日替わりカレーの「煮込みハンバーグカレー」(1,150円(税込))です。食べている途中にルーが少なくなると店員さんが「ルーかけますか?」と声をかけてくれて無料でルーを継ぎ足してくれます。全品アイスクリーム付きで食後の口の中もさっぱり!誰もがお腹いっぱい満足できる「カリーhaus コロンボ」にぜひ足を運んでみてはいかがですか?

編集後記

68号のテーマは札幌市民にとても身近な“みどり”。団体の皆様からお話しを伺い、活動の背景や、そこにある皆様の想い・熱意を知ることができました。一口にみどりといっても想像するものが人それぞれ違うように、団体の活動も多種多様です。これまで市民活動にあまりなじみがなかったという方も、本誌をきっかけに興味のある団体と出会い、市民活動とのつながりが生まれれば幸いです。（記 渡邊）

札幌市市民活動サポートセンター

(指定管理者:公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目
札幌エルプラザ公共4施設2階

（011）728-5888 アクセス: JR札幌駅北口より

徒歩3分

(札幌駅北口地下歩道12番出口横から直通)



食べることが大好きなしみサポのスタッフが、センターに近い飲食店をご紹介するコーナーです。



全品テイクアウトOK



ゾウの置物や
イラストが店内
の至る所に!



木を基調とし
た内装でどこ
か懐かしい雰
囲気!

カリーhaus コロンボ

札幌市中央区北4条西4丁目札幌国際ビルB1F
地下鉄札幌駅直結 地下鉄8番出入り口

営業時間: 平日 / 11:00~20:30 土日祝 / 11:00~19:00

定休日: 第4日曜日
011-221-2028



HP
<https://www.shimin-sl-plaza.jp>



YouTube
[@sapporcenter_shiminkatsudou](https://www.youtube.com/@sapporcenter_shiminkatsudou)